



あけましておめでとうございます

今年はときわ台1.2丁目地区にとって、ますます良い街づくりの年でありたいと思います。「しやれた街づくり運動」に今年もご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お知らせ1 : アンケート調査の実施について

「常盤台」を私たちの手で、より美しいより住みやすい街にするために、1.2丁目地区の全戸を対象に、住民のみなさんの意見のアンケート調査を行います。1月下旬ごろ用紙をお届けし、記載してもらい、約一週間後に用紙を回収します。担当は学生アルバイトです。街づくりについての住民意見を十分取り入れ、街づくりガイドラインを作成する第一歩となる大事な調査です。プライバシーには十分注意いたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お知らせ2 : バス見学会について

バスに乗って親睦を深めながら、街づくり先進地の見学を行います。

行き先： 世田谷区成城学園ほか

日時： 2005年1月23日(日)午前9:00にときわ台北口駅前泉屋のまえ集合。

終日バスで行動します。(帰着予定午後5時ごろ)費用は無料。昼食は各自持参

ご参加の方は1月21日(金)までに中島(電話またはファクス 3966-9674)まで、お申し込み下さい。

バスの定員は、27人です。

お知らせ3 : 第2回講演会について

テーマ：「日本型街づくりシステムを考える」

講師：東京電力k k技術研究所主席研究員 青木 仁氏

日時：2005年2月6日(日)15:00～17:00

場所：南常盤台 天祖神社神楽殿

講師の青木氏は、1952年東京・墨田区生まれ。建設省、都市基盤整備公団を経て現職。

「なぜ日本の街はちぐはぐなのか(日本経済新聞社)」「日本型魅惑都市をつくる(日本経済新聞社)」

「快適都市空間をつくる(中公新書)」などの著者で、興味あるお話が聞けるとおもいます。

お誘い合わせの上、大勢のご参加をお待ちしています。

(ご報告)：第1回講演会は2004年12月12日(日)西村幸夫東大教授により「景観法」をテーマに開催されました。「景観法生みの親」と言われるだけあって誕生の経緯や法の趣旨、期待される効果などについてわかりやすい解説があり、理解を深めました。

お知らせ4： 「しゃれ街ニュース」のシンボル・マーク決まる

1丁目在住の志田武彦さんに考案してもらいました。第1面上段のマークです。マーク・デザインの発想は、ときわ台のシンボルとも言うべき円形(環状)の並木道をリースの輪すなわち人の和とし、並木道に植樹されているマロニエ(栃の木)とプラタナス(鈴掛の木)の葉と実をかたどり、さらに人と人との結びつきを下部のリボンで表しています。(作者のお話です)
詳細はホームページをご覧ください。

お知らせ5： 「しゃれ街ニュース」の配布方法変更について

最近の投書に「ニュースが住宅の全戸に行き渡っていない」とのご指摘がありました。準備協議会では配布方法を検討し、さきのニュース第6号から、町内ボランティアと学生ボランティアの手で、全戸のポストに投函するシステムとしました。ボランティアの方が配布するところを見たら、ひとこえ掛けてください。そして一緒に街づくりについて話し合いをいたしましょう。なお、配布もれのある方、ご意見のある方は、編集委員久世まで(3969-7291)お問い合わせください。

お知らせ6： 愛称募集に応募について

愛称募集に応募された方々に、御礼のプレゼントを差し上げました。ありがとうございました。
3月末まで引き続き募集中です。

編集後記

年が明け、しゃれ街準備協議会も“ときわ台しゃれ街ガイドライン”作成に向け、活動が本格化します。

アンケート調査、バスツアー、講演会と続きますが、住民の皆様方の参加があつての活動です。何かと忙しい時期ですが、ときわ台の貴重な環境と景観を維持していく為のガイドライン作成です。この機会を逸したくありません。

十二支の酉は、果実の熟す期と故事にあります。ガイドライン作成が熟す年になるよう、努力したいと思います。

皆様方の参加とご協力、宜しく御願い致します。

編集委員 久世、西村、野崎

ホームページ：<http://www.geocities.jp/sharemachi/>

メールアドレス：sharemachi@hotmail.com